

関連イベント

ピースおおさか 開館の日平和祈念事業 日本・ポーランド国交樹立100周年 (1919~2019年) 記念事業

特別講演会「第二次世界大戦とポーランド」

講演者：伊東孝之（北海道大学名誉教授、早稲田大学名誉教授）

【日時】9月15日(日) 14:00~15:30

【参加費】無料(9月15日は「関西文化の日プラス」実施日のため入館料も無料)

【会場】ピースおおさか 1階講堂

【申込方法】電話にて受付(先着順) 【定員】250名



大砲で応戦するポーランド兵士たち
(1939年9月)

© Muzeum II Wojny Światowej w Gdańsku



アウシュヴィッツ・ビルケナウ
ナチス・ドイツの強制絶滅収容所(1940-1945)

© Państwowe Muzeum Auschwitz-Birkenau



空襲を受けるワルシャワの王宮
(1939年9月17日)

© Narodowe Archiwum Cyfrowe

第二次世界大戦博物館とは

バルト海に面する港湾都市グダンスクに、2017年3月にオープンした博物館。グダンスクは第二次世界大戦勃発の地であり、博物館にはポーランドはもちろん、ソ連やナチス・ドイツについての展示をはじめ、戦時下のポーランドの街を再現したエリアなどもあります。他にも、ホロコーストや広島・長崎の原爆について紹介した展示があります。



第二次世界大戦博物館の外観

© Muzeum II Wojny Światowej w Gdańsku

学芸員のおススメコレクション

大阪市文化財協会 かんざし 中国製のガラス簪

大坂城下町跡で豊臣後期(1598~1615年:豊臣秀吉の死去した年~大坂ノ陣での豊臣氏滅亡まで)の穴から見つかりました。先端に丸い突起があり、先は折れています。このようなガラス簪は、中国で元~明代に多く作られたものですが、日本での出土例は知られておらず、本品は相当に貴重だったと思われます。当時の一般女性は、髪を垂らすか、首の後ろで一つ括りにして、簪を挿せるような結髪だったのは、遊女か男性でした。この簪は誰の髪を飾ったのでしょうか?誰にせよ、持ち主はお洒落上級者だったに違いありません。(大阪市文化財協会 学芸員 小田木富慈美)



大坂城下町跡出土
中国製青色ガラス簪(長さ約6cm)

※今回紹介した資料は、10月16日(水)~2020年1月6日(月)、大阪歴史博物館で開催の特集展示「新発見!なにわの考古学2019」にて展示します。開館時間/9:30から17:00まで(10月18日~11月29日の毎金曜日は20:00まで)※入館は閉館の30分前まで。休館日/火曜日、年末年始(12月28日~1月4日)休館。ただし、10月22日は開館、10月23日は休館。

大阪市文化財協会 ●所在地 〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-6-41 ●TEL 06-6943-6833 ●FAX 06-6920-2272 ●アクセス 大阪歴史博物館 大阪メトロ「谷町4丁目」2または4号出入口ロシティブス「馬場町」すぐ ●ホームページ 大阪市文化財協会 <http://www.occpa.or.jp/> 大阪歴史博物館 <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

大阪市立の博物館・美術館・動物園
Osaka Museums
<https://museums.ocm.osaka>



大阪市立科学館 大阪市立美術館 天王寺動物園 大坂城天守閣
大阪市立東洋陶磁美術館 大阪歴史博物館 大坂中之島美術館準備室
大阪市立自然史博物館 大坂くらしの今昔館 大阪市文化財協会